2023/04/14（予定） 機能追加

予算を管理し、実績金額との比較もしたい　他 24 件

トピック

- 予算管理
  - 予算を管理して、実績との比較をしたい
- 取引入力
  - 仕訳伝票全体にかかる情報を伝票摘要として入力したい
  - インボイスNo.を確認しながら処理したい
  - 貸借それぞれに摘要を入力したい
  - ［取引明細入力］メニューで、金額が0円の明細を登録したい
  - 消込時に、異なる通貨で決済したり、手数料を含めた1：Nの仕訳伝票を登録したい
  - ［消込入力］メニューで、伝票初期日付を前回指定した日付にしてほしい
  - ［消込入力］メニューで、マイナス金額を集計してほしい
  - 自科目として指定している勘定科目や補助科目を、代入項目に使いたい
  - 年齢表にパターンを追加したい
  - 為替差損益は、科目単位でまとめて計上してほしい（取引先別の細かい粒度に分けないでほしい）
  - 為替差損益の集計後、全パターンにチェックが付かないように変更してほしい
- 証憑
  - 『証憑収集 for 勘定奉行クラウド』の証憑収集アプリでも、証憑を承認したい 証憑収集
  - 誰がいつアップロードした証憑か確認したい
  - 証憑の出力順序を指定できるようになりました
  - 証憑収集アプリの［証憑リスト］メニューで、他の担当者がアップロードした証憑も確認したい 証憑収集
  - 取引通貨を証憑項目に関連付け、仕訳伝票に自動でセットしたい
  - AI-OCRで読み取った部分が一目で分かるようにしてほしい AI-OCR
- 会計帳票
  - ［元帳］メニューで、本体金額を上段に、消費税額を下段に出力したい
  - ［元帳］メニューで、取引通貨金額・ISO通貨コード・為替レートを出力したい
- 残高入力
  - 導入前の実績金額を登録したい
- その他
  - メニュー名を変更
  - 為替レート種別のコード桁数を設定したい
  - 汎用データ作成時の出力条件を追加
  - IMEを自動起動させないでほしい

予算管理

予算を管理して、実績との比較をしたい

全社や部門別に予算を管理できます。
社内で確定した予算額（通貨１）を登録することで、日々の仕訳伝票から自動で集計された実績金額との比較、達成率も確認できます。

追加メニュー

［財務会計 - 予算管理 - 予算実績対比表］メニュー
［財務会計 - 予算管理 - 予算実績集計表］メニュー
［財務会計 - 予算管理 - 予算額］メニュー
［財務会計 - 予算管理 - 予算額ファイル受入］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ作成 - 予算額データ作成］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ受入 - 予算額データ受入］メニュー

対応メニュー

［法人情報 - 経理規程 - 経理業務設定］メニュー
［法人情報 - 経理規程 - 勘定科目 - 勘定科目］メニュー
［法人情報 - 経理規程 - 勘定科目設定 - 勘定科目一括登録］メニュー
［法人情報 - 経理規程 - 勘定科目 - 補助科目］メニュー

取引入力

仕訳伝票全体にかかる情報を伝票摘要として入力したい

仕訳伝票全体に関わる摘要を入力できるようになりました。
領収書や請求書などの全体に関わる情報（注文番号や請求書No.）のように、仕訳伝票ごとに管理したい情報を、伝票摘要として入力できます。
伝票摘要を指定して仕訳伝票を検索したり、仕訳伝票の明細を見なくてもどのような取引の仕訳伝票か把握できるようになります。

対応メニュー

メインメニュー右上の から［運用設定］メニュー

入力

［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票入力］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 取引ファイル受入］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 取引入力補助 - 定型仕訳伝票］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票一括更新 - 仕訳伝票一括修正］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ作成 - 仕訳伝票データ作成］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ受入 - 仕訳伝票データ受入］メニュー

出力

［財務会計 - 取引入力 - 取引明細リスト］メニュー
［財務会計 - 会計帳票 - 元帳］メニュー
［財務会計 - 会計帳票 - 集計表 - 摘要集計表］メニュー
仕訳伝票を検索できるすべてのメニュー
仕訳伝票を一覧で確認できるすべてのメニュー

インボイスNo.を確認しながら処理したい

［仕訳伝票一括削除］メニューで、インボイスNo.を確認しながら削除したい仕訳伝票を選択できるようになりました。

また、［仕訳伝票入力］メニューで仕訳伝票を検索した際に、［仕訳伝票入力 - 検索結果］画面でインボイスNo.も確認できるようになりました。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票入力］メニュー（［仕訳伝票入力 - 検索結果］画面）
［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票一括更新 - 仕訳伝票一括削除］メニュー

貸借それぞれに摘要を入力したい

借方科目と貸方科目それぞれに摘要を入力できるようになりました。
明細行ごとの摘要を入力する部分が、借方摘要と貸方摘要の入力欄に分割されます。
借方科目「消耗品費」には注文内容を、貸方科目「未払金」には請求額の引落日のように、貸借で異なる摘要を入力する場合に使用します。

対応メニュー

メインメニュー右上の⚙から［運用設定］メニュー

入力

［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票入力］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 取引ファイル受入］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 取引入力補助 - 定型仕訳伝票］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 仕訳伝票一括更新 - 仕訳伝票一括修正］メニュー

メインメニュー右上の📝から［汎用データ作成 - 仕訳伝票データ作成］メニュー

メインメニュー右上の📝から［汎用データ受入 - 仕訳伝票データ受入］メニュー

出力

［財務会計 - 取引入力 - 取引明細リスト］メニュー
［財務会計 - 会計帳票 - 元帳］メニュー
［財務会計 - 会計帳票 - 集計表 - 摘要集計表］メニュー
仕訳伝票を検索できるすべてのメニュー

［取引明細入力］メニューで、金額が0円の明細を登録したい

金額の未入力を許可している場合に、明細の金額が0円のまま登録できるようになりました。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引明細入力］メニュー

消込時に、異なる通貨で決済したり、手数料を含めた1：Nの仕訳伝票を登録したい

［消込入力］メニューで消込をして仕訳伝票を登録した後に、その場で仕訳伝票を修正できるようになりました。
消込済みの取引の行をダブルクリックまたは行を選択して［F9：伝票修正］を押すと、修正できます。
消込済みの取引の1行に対して複数の仕訳伝票が登録されている場合は、ダブルクリックまたは［F9：伝票参照］を押すと［仕訳帳］メニューが自動表示されるので、その場で修正します。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - インボイス - 消込入力］メニュー

［消込入力］メニューで、伝票初期日付を前回指定した日付にしてほしい

「消込」にチェックを付けた際に、前回指定した日付（最終伝票日付）を伝票日付に初期表示できるようになりました。

［消込入力］画面右上の⚙をクリックまたは［F3：設定］を押すと、［基本］ページの「伝票初期日付」で「最終伝票日付」または「システム日付」を選択できます。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - インボイス - 消込入力］メニュー

［消込入力］メニューで、マイナス金額を集計してほしい

マイナス金額も集計の対象となり、表示が年齢表と一致するので突合しやすくなりました。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - インボイス - 消込入力］メニュー

自科目として指定している勘定科目や補助科目を、代入項目に使いたい

［取引明細入力］メニューや［消込入力］メニューで最初に指定する科目（自科目）を、代入項目として指定できるようになりました。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 取引明細入力］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - インボイス - 消込入力］メニュー

年齢表にパターンを追加したい

パターンの名称を変更したり、各利用者がパターンを作成できるようになりました。
確認対象を「未回収の債権」または「未払いの債務」から選択してパターンを作成できます。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - インボイス - 年齢表］メニュー

為替差損益は、科目単位でまとめて計上してほしい（取引先別の細かい粒度に分けないでほしい）

［F3：集約設定］を押し、［為替差損益計上 - 集約設定］画面で設定します。
集約設定は、為替換算パターンを作成する［為替差損益計上］画面の［出力］ページにありましたが、［F3：集約設定］から設定できるようになりました。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 通貨換算 - 為替差損益計上］メニュー

為替差損益の集計後、全パターンにチェックが付かないように変更してほしい

［F4：全選択］／［F4：全解除］が追加されました。
［F4：全解除］を押すと、為替差損益計上パターンのチェックを一括で外せます。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 通貨換算 - 為替差損益計上］メニュー

証憑

『証憑収集 for 勘定奉行クラウド』の証憑収集アプリでも、証憑を承認したい

証憑収集

従業員からアップロードされた証憑を、『証憑収集 for 勘定奉行クラウド』の証憑収集アプリでも承認／否認できるようになりました。
［証憑ワークフロー］メニューでワークフロー（承認経路）を作成し、証憑種類ごとに関連付けるので、「領収書は拠点と経理部で承認する」「請求書は拠点側だけで承認する」といった運用もできます。
2段階承認までのワークフローを作成できます。

こちらの機能追加に伴い、当サービスのメニュー名の変更と、従来の機能をメニューとして追加しています。

変更前	変更後
［財務会計 - 取引入力 - **収集証憑確認**］メニュー	［**証憑承認**］メニュー

追加メニュー

［法人情報 - 経理規程 - 証憑設定 - 証憑種類権限］メニュー
［法人情報 - 経理規程 - 証憑設定 - 証憑ワークフロー］メニュー
証憑収集アプリの［証憑承認］メニュー

対応メニュー

メインメニュー右上の⚙から［運用設定］メニュー
［法人情報 - 経理規程 - 証憑設定 - 証憑種類］メニュー
［財務会計 - 取引入力 - 証憑承認］メニュー

誰がいつアップロードした証憑か確認したい

［証憑入力］メニューで、アップロード者名・アップロード日時を表示できるようになりました。
［F3：設定］を押して、［項目選択］ページで「アップロード者名」「アップロード日時」にチェックを付けると表示されます。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 証憑入力］メニュー

証憑の出力順序を指定できるようになりました

証憑のリストに表示されている順番を、アップロード日時順、ファイル名順に加えて、証憑種類ごとの証憑項目順で表示できます。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 証憑入力］メニュー

証憑収集アプリの［証憑リスト］メニューで、他の担当者がアップロードした証憑も確認したい 証憑収集

『証憑収集 for 勘定奉行クラウド』の証憑収集アプリの［証憑リスト］メニューで、他の担当者がアップロードした証憑も確認できるようになりました。
［運用設定］メニューの［証憑収集アプリ］ページで、「他の担当者がアップロードした証憑も確認できるようにする」を選択すると確認できます。

対応メニュー

メインメニュー右上の⚙から［運用設定］メニュー
証憑収集アプリの［証憑リスト］メニュー

取引通貨を証憑項目に関連付け、仕訳伝票に自動でセットしたい

［証憑種類］メニューで、入力型が「通貨」の証憑項目を登録できるようになりました。
従業員が証憑をアップロードする際に、取引で使用する通貨で指定している通貨を選択できるようになります。

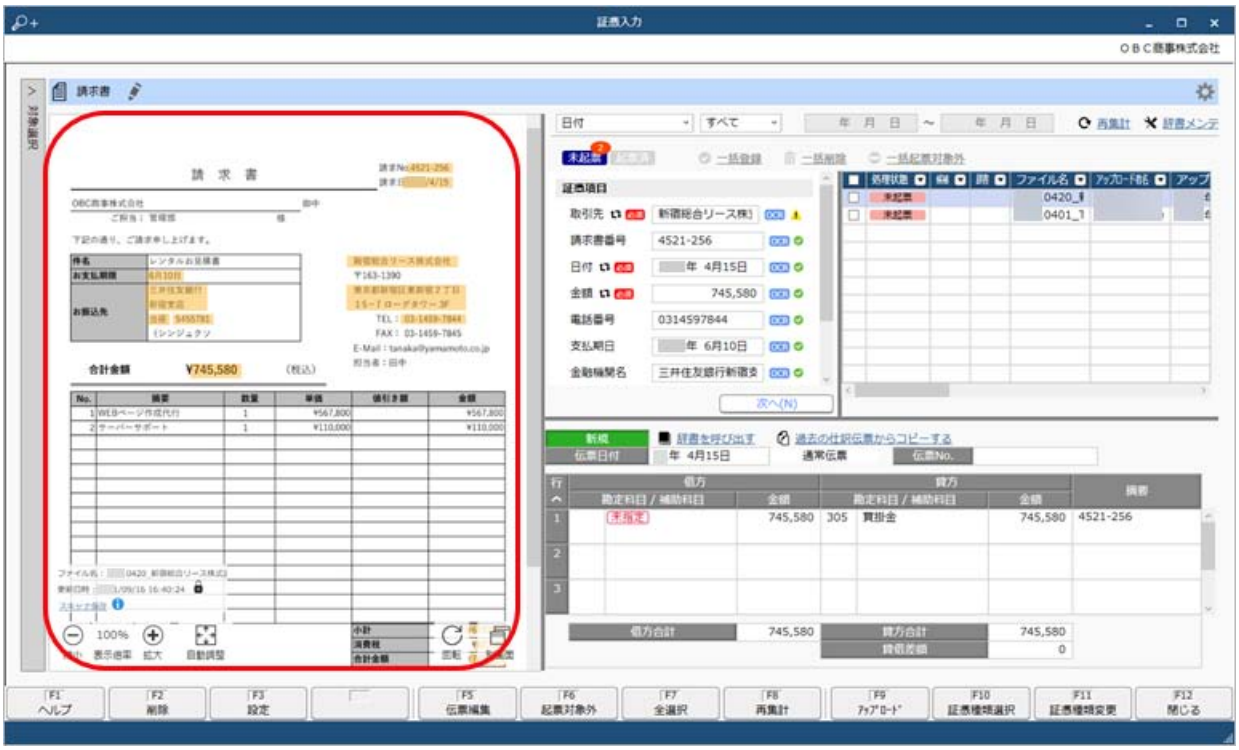
証憑に取引通貨を関連付けたり、仕訳伝票の起票時に自動で取引通貨をセットできるようになります。

対応メニュー

［法人情報 - 経理規程 - 証憑設定 - 証憑種類］メニュー

AI-OCRで読み取った部分が一目で分かるようにしてほしい AI-OCR

『AI-OCR for 勘定奉行クラウド』をご利用の場合、領収書や請求書から日付や金額などの情報を自動で読み取ります。
その際、読み取った部分を黄色でハイライト表示して、証憑のどの部分を読み取ったかが一目で分かるようになりました。



注意　当サービスをバージョン「230330」に更新する前にアップロードした証憑は、ハイライト表示されません。

対応メニュー

［財務会計 - 取引入力 - 証憑入力］メニュー
証憑収集アプリの［証憑アップロード］メニュー
証憑収集スマホアプリの証憑入力画面

会計帳票

［元帳］メニューで、本体金額を上段に、消費税額を下段に出力したい

本体金額を上段に、消費税額を下段に出力できるようになりました。
［元帳 - 条件設定］画面の［出力］ページで、「本体金額を上段に出力する」にチェックを付けると出力できます。

対応メニュー

［財務会計 - 会計帳票 - 元帳］メニュー

［元帳］メニューで、取引通貨金額・ISO通貨コード・為替レートを出力したい

取引通貨金額・ISO通貨コード・為替レートを出力できるようになりました。
［元帳 - 条件設定］画面の［出力］ページで、取引通貨金額で「出力する」を選択すると出力できます。

対応メニュー

［財務会計 - 会計帳票 - 元帳］メニュー

残高入力

導入前の実績金額を登録したい

当サービスを導入する前の過年度5期分の実績金額（通貨１）を、期首残高と発生金額で登録できるようになりました。
過年度との対比表や推移表を作成する場合や、事業年度の途中から使い始める（期中導入の）場合に、登録します。

なお、期中導入の場合は、通貨別の導入前実績も登録できます。
期首月から伝票入力開始月までの取引通貨別の発生金額と、通貨１に換算した金額（換算額）を登録します。
登録すると、期首月から伝票入力開始月の期間の通貨ごとの内訳金額を帳票で確認できます。

追加メニュー

［財務会計 - 残高入力 - 導入前実績金額］メニュー
［財務会計 - 残高入力 - 通貨別導入前実績金額］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ作成 - 導入前実績金額データ作成］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ作成 - 通貨別導入前実績金額データ作成］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ受入 - 導入前実績金額データ受入］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ受入 - 通貨別導入前実績金額データ受入］メニュー

その他

メニュー名を変更

変更前	変更後
［法人情報 - 経理規程 - **勘定科目設定**］メニュー	［**勘定科目**］メニュー

為替レート種別のコード桁数を設定したい

［為替レート］メニューで新規に為替レート種別を登録する際のコード桁数を設定できるようになりました。
［為替レート検索］画面等に表示される為替レート種別の桁数も変わります。

対応メニュー

メインメニュー右上の から［運用設定］メニュー

汎用データ作成時の出力条件を追加

［汎用データ作成］メニュー等で取引先のデータを作成する際に、出力条件として、利用情報（マスターを当サービスに登録した日時や利用者など）やデータの出力順を設定できるようになりました。

対応メニュー

［法人情報 - 取引先 - 取引先］メニュー

メインメニュー右上の から［汎用データ作成 - 取引先データ作成］メニュー

IMEを自動起動させないでほしい

当サービス起動時に「English」を選択してログインした場合は、摘要入力欄や付箋メモ、検索条件、フィルターなど、すべての入力欄のIMEが初期でOFFになります。

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。